

## < 廿日市支部 >

### 日本薬学会第133年會に参加して



理事 中谷 有吾

日本薬学会第133年會が平成25年3月26日～30日にパシフィコ横浜で開催されました。私は業務の都合上、ポスター発表日の30日のみ参加しました。

当日は寒気が日本列島を覆い非常に寒い日でしたが、会場は多くのポスターと発表者や質問者で非常ににぎわっており、熱い討論が交わされていました。

ポスター発表は、平成24年11月4日の「廿日市市あいプラザまつり」において実施した「指先から健康チェック」の検査結果やアンケートをふまえて、広島大学薬学部臨床薬物治療学森川則文教授のご協力のもと、「広島県廿日市市五師士會での連携チーム医療に貢献する薬剤師の新たな試み～マイクロTDMの実践：指先生化学検査による生活習慣のチェック～」の表題で行いました。

発表ではたくさんの質問や意見を頂きました。薬学生からは、「多職種連携に興味がある。どのように連携しているのか？」や「医師からはどのように思われているのか？」などの質問や、「調剤薬局の薬剤師も研究発表できる事に驚いた。自分もぜひ発表したい!」、「指先穿刺の健康チェックがあたりまえのように薬局でもできたら地域に貢献できる!」といった前向きな意見を頂きました。

また大学教員からは、「こういった取り組みが全国で行われて、薬剤師の職能が認知されるように頑張りましょう!」といった心強いご意見を頂きました。

臨床薬学分野では、保険薬局の薬剤師からの発表がみられ、各薬局の取り組みやなど非常に興味深いものがありました。

学会に参加して、最新の研究発表に触れたり、自ら発表することはとても刺激になりますし、勉強になると感じました。また、これからも薬局薬剤師は各薬局で取り組んだことなどを、積極的に様々な場でアピールしていかなければならないと感じました。

最後に発表に際して、ご指導くださった広島大学薬学部臨床薬物治療学研究室の森川則文教授をはじめ研究室の皆様、廿日市市薬剤師會の皆様、廿日市市五師士會の皆様に御礼申し上げます。